

本資料は、報道関係者を対象としています。医療現場や一般の方々を対象とした医学的な情報提供や、プロモーションが目的のものではありません。なお、これらの資料は配信時当初の情報が掲載されており、最新の情報が反映されているとは限らないことをご了承ください。

報道関係各位

2026 年 8 月 27 日

多発性骨髄腫治療薬「サークリサ®皮下注 1400mg」新発売 ～投与時間の短縮により、患者さんおよび医療従事者の負担軽減に貢献～

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、以下「サノフィ」)は、「サークリサ®皮下注 1400mg」(一般名:イサツキシマブ(遺伝子組換え))を本日発売しましたことをお知らせいたします。本製剤は、多発性骨髄腫を効能又は効果とし、ポマリドミド・デキサメタゾン併用療法(Pd)、カルフィルゾミブ・デキサメタゾン併用療法(Kd)、ボルテゾミブ・レナリドミド・デキサメタゾン併用療法(VRd)が適応となります。



サークリサ®は点滴静注に加えて皮下注による投与が可能となり、患者さんや医療従事者のニーズに応じて投与方法を選択できるようになりました。

サークリサ®は 2020 年 8 月、再発又は難治性の多発性骨髄腫治療薬として日本で発売され、多くの患者さんの治療を支えてきました。2025 年 2 月には、VRd にサークリサ®を追加する「IsaVRd 療法」として、国内初の未治療の多発性骨髄腫を対象とする 4 剤併用療法の承認を受け、治療選択肢の拡充にも貢献しています。

今回の皮下注製剤の追加により、静脈内投与と比較して、投与時間の大幅な短縮が可能になります。これにより、患者さんの治療における身体的・時間的な負担軽減が期待され、ライフスタイルや治療環境に合わせた、より柔軟で個別化された治療の実現につながります。また、医療現場における診療業務の効率化により、医療従事者の負担軽減にも寄与することが期待されます。

サノフィは、皮下注製剤および点滴静注製剤という 2 つの選択肢を通じて、多発性骨髄腫と向き合う患者さんお一人おひとりに最適な治療を届けられるよう、今後も貢献してまいります。

【サークリサ®皮下注製品概要】

販売名	サークリサ®皮下注 1400mg
一般名	イサツキシマブ（遺伝子組換え）
効能又は効果	多発性骨髄腫
用法及び用量	他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはイサツキシマブ（遺伝子組換え）として 1 回 1400mg を、併用する抗悪性腫瘍剤の投与サイクルを考慮して、以下の A 法又は B 法の投与間隔で皮下投与する。 A 法：1 週間間隔、2 週間間隔の順で投与する。 B 法：1 週間間隔、2 週間間隔及び 4 週間間隔の順で投与する。

サークリサ®について

サークリサ®は、多発性骨髄腫の腫瘍細胞表面に高頻度かつ一様に発現している CD38 受容体の特異的エピトープを標的とするモノクローナル抗体製剤です。現在、米国、EU、日本、中国をはじめとする約 60 カ国で多発性骨髄腫の治療薬として様々な治療レジメンで点滴静注製剤が承認されており、日本では 2020 年 8 月に発売されています。

サノフィは、長年にわたりオンコロジー領域に取り組み、がんと共に生きる人々の生活改善を目指して科学のもたらす奇跡を追求しています。私たちはがん治療の変革を目指して、アンメットニーズが高く、まれで治療が難しいがんに対して、革新的でファースト・イン・クラスおよびベスト・イン・クラスの免疫療法薬や分子標的療法薬の開発を進めています。

サノフィについて

サノフィは、研究開発型の AI を活用したバイオ医薬品企業であり、人々の暮らしをより良くし、力強い成長をもたらすことに尽力しています。免疫科学領域の深い知見を活かし、世界中の何百万人もの人々の治療と予防を行う医薬品やワクチンを提供し、さらなる貢献のために革新的なパイプラインの構築にも注力しています。「人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する」という使命のもと、医療・環境・社会が抱える課題に真摯に向き合い、社員と国や地域社会にとって前向きな変化を生み出すことを目指しています。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<https://www.sanofi.co.jp/> をご参照ください。